

**製品名: MCM3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab13720**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	89kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MCM3
別名	MCM3; DNA replication licensing factor MCM3; DNA polymerase alpha holoenzyme-associated protein P1; P1-MCM3; RLF subunit beta; p102
遺伝子 ID	4172.0
SwissProt ID	P25205
免疫原	抗血清はヒト MCM3 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 641-690

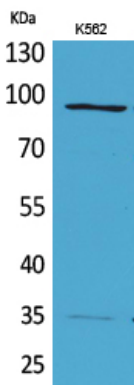
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、真核生物ゲノム複製の開始に関与する高度に保存されたミニ染色体維持タンパク質 (MCM) の一つです。MCM タンパク質によって形成される六量体タンパク質複合体は、複製前複合体 (pre\_RC) の主要構成要素であり、複製フォークの形成や他の DNA 複製関連タンパク質のリクルートメントに関与している可能性があります。このタンパク質は、MCM2-7 からなるタンパク質複合体のサブユニットです。MCM5/CDC46 と直接相互作用することが示されています。また、このタンパク質はクロマチン関連アセチルトランスフェラーゼである MCM3AP とも相互作用し、アセチル化を受けます。このタンパク質のアセチル化は、DNA 複製の開始と細胞周期の進行を阻害します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2012年7月],機能: 細胞周期ごとに DNA が1回の複製を行えるようにする因子として作用します。DNA 複製と細胞増殖に必要です。、その他:複製特異的 DNA ポリメラーゼ  $\alpha$  と関連しています。、PTM:DNA 損傷時にリン酸化されます (おそらく ATM または ATR による)。、類似性:MCM ファミリーに属します。、類似性:1つの MCM ドメインを含みます。、

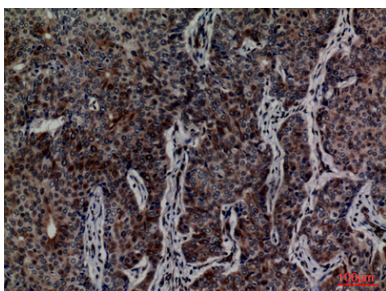
## 研究分野

DNA 複製;細胞周期 G1S;細胞周期 G2M\_DNA;

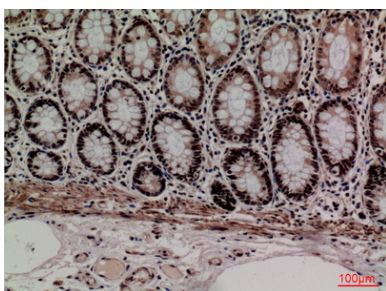
## 画像データ



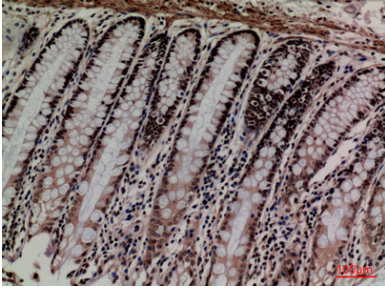
MCM3 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された